

# 成果報告書

(地域文化倶楽部創設支援事業)

特定非営利活動法人ダンスボックス

所在地	兵庫県神戸市	設立年	1996年
運営主体	特定非営利活動法人ダンスボックス 拠点：神戸市長田区南部		
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加生徒の創造性や主体性を育むこと、多様な表現方法に触れる中で自身に合う表現方法を見つけること。</li> <li>・地域のなかに生徒にとっての第三の居場所(サードプレイス)をつくること。</li> </ul>		
きっかけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●美術、音楽、ダンスなどの領域を横断した表現を、地域の施設やアーティストが受け皿となって、中学生が部活動の一環として触れることのできる場</li> <li>●学校等の教育現場には、文化庁「児童生徒のコミュニケーション能力の育成に資する芸術表現体験事業」で継続して実施してきたが、恒常的な表現の場以上の場を創出したいと考えた。</li> </ul>		
団体・組織等の連携			
活動場所	神戸市長田区南部 ArtTheater dB神戸、スタジオ・長田教坊、角野邸、神戸映画資料館、ふたば学舎		
活動概要	<p>「地域文化倶楽部：劇場でアート・プログラム」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■活動の実施期間 ※火曜日展開 令和3年9月～3月</li> <li>■活動の実施回数=18回 1回=90分～120分</li> </ul>		

## 〇本事業による成果

従来の活動の成果のみではなく、本事業を実施したことにより得られた成果について記載すること。(数値やグラフで示すものがあれば望ましい)

- ・コロナ禍で学校での活動が縮小したり制限される中で、これまであまり体験することができなかった機会を生み出すことができた。
- ・生徒たちとのフィードバックの中で、自分の言葉で考えていることを言えるようになってきた。
- ・自分自身のルーツ(彼女は母親が外国人)を否定することではなく、ポジティブに捉えることができるようになり、将来の夢が広がったと聞いた。
- ・地域の施設やアーティストとの連携がとれ、次年度に向けての関係性を構築できた。

## ○児童・生徒への指導に関する工夫

指導を行う上で独自で工夫していることについて記載すること。

- ・生徒たちが、自分達の言葉で話せるような場づくりを心がけた。
- ・生徒達の取り組みたいことを大事にし、自主的・能動的に部活動に取り組むことができるような流れに持って行けるように工夫した。
- ・神戸大学の大学院生をアシスタントとしてむかえ、理論と実践をつなげられるよう大学との連携を図った。

## ○運営上の工夫

運営上、工夫している点を記載する。

- ・効果が最大限に創出できるように、各指導者とは事前に入念に打合せを行った上で、部活動に取り組んだ。
- ・今年度のプログラムの最終日に発表会を行い、保護者・地域住民・関係者が、成果発表に立ち会う場をつくった。
- ・生徒達が、ゲスト講師だけではなく、劇場で活動するアーティストや技術スタッフなど、いろんな表現活動に取り組む大人たちと出会う機会を多く設けた。

## ○継続的な運営に関する課題・展望

活動場所、指導者、活動経費、教育機関や地域等との連携等、様々な観点からの課題と展望を記載する。

- ・劇場ArtTheater dB KOBEを中心に、地域のなかのいろんな機能をもつ施設で実施した。また、地域を拠点とするアーティストが講師として関わる事で、連携を深めることができた。
- ・実施前には、校区内の駒ヶ林中学校に相談に行き、日程やプログラム内容の助言を得る事ができた。また、文化庁「児童生徒のコミュニケーション能力の育成に資する芸術表現体験事業」で、プログラム開始前に、駒ヶ林中学校の授業の一環でダンス・ワークショップを実施。今回、顧問として関わったアーティストの趙恵美さんとパクウォンさんも同行し、生徒達の現状の把握に努めた。

## ○令和5年度からの学校部活動の段階的な地域移行に関する方針・計画

上記の課題をどのように解決し取り組んでいくのか、方針や計画を記載する。

- ・令和4年度は、予算のこともあり9月～3月の期間のなかで実施した。神戸市のほかの助成制度に申請を行いながら、4月から3月までの実施を目指したい。年間を通しての実施を行う事で、より学校部活動の活動展開に近い形をとりながら、地域で実施できる体制を整えたい。
- ・令和4年度は、駒ヶ林中学校の校長先生との会議のなかで進める事ができたが、次年度も続行して連携をとっていく。また、近くの長田中学校の美術の先生とも連携をとり、部活動の内容についてさらに踏み込んだ形で意見を得ながら進めていく。

※上記4点の記載の中に活動の画像を挿入してもよい。

※『[地域移行\(展開\)を進める際のポイントチェックリスト](#)』を参照すること。

参加者 (予定人数)	中学一年～三年生 (18名)
募集方法	・チラシ配布(20部×50カ所) ・長田区の広報誌に情報掲載 ・駒ヶ林中学校の全校生徒へのチラシの配布
指導者	顧問:小学校や中学校等の教育機関で、10年以上にわたって指導を継続しているパクウォンさん、趙恵美さん 指導者:連携団体からの実践家6名
移動手段	各自
活動費用	生徒・保護者からの徴収はなし
スケジュール	令和3年 10月5日、10日、17日／11月2日、16日、30日／12月7日、14日、21日／1月11日、18日、25日／2月1日、8日、15日、22日／3月1日、8日 計18回
保険加入等	

【活動の様子（写真添付）】

